

# 令和8年度 事業計画

## I 事業計画の具体的内容

令和8年は、世界を覆う不安定な状況の克服に向けた動きが進む1年となるだろう。世界では、大国が秩序を決める動きや自国第一主義による安全や繁栄を図る動きなどにより、価値観が揺らぎ、経済的な格差、分断が進み、不安定な状況が続いている。また、世界的に自然現象が猛威を振るい、毎年激しさを増す猛暑や豪雨、大型台風、少雨による山火事などの自然災害も大きな脅威となっている。こうした状況は国内でも例外ではない。豪雪・豪雨、地震、山火事などの自然災害の脅威が増し、食品や不動産などの物価高の傾向が続き、日々の暮らしに影響を与えている。令和8年冒頭の衆議院議員選挙を経て、衆議院で与党が初めて2/3を超える新政権が始動した。新政権が打ち出す政策を支えに、国民の生活の不安への対応と経済の成長戦略の成果に期待しつつ、景気動向に影響を受ける広告業界においてはこうした情勢を注視していく必要がある。

電通の調査「2025年 日本の広告費」によれば、2025年の総広告費はSNSや動画広告が牽引したインターネット広告が成長し、構成比でも50%を超え、4年連続過去最高を更新した。国内のエネルギーを支える中東が不安定な状況にあり、26年以降の景気動向に不安があるものの、AIの普及により、広告制作や配信の効率化・最適化が進み、動画広告は成長を続け、インターネット広告は堅調に伸びることが予想され、リアル体験の場としてのイベントや展示などのプロモーションメディアを組み合わせた複合的な展開など国内の広告市場は構造的にさらに進化していくものと考えられる。

一方で、インターネットやSNSにおいては、事前審査をすり抜けた不適切な広告の掲出を防ぎきれず、虚偽・誇大広告、詐欺広告が途切れることなく消費者が不利益を被り社会問題となっている。総務省、経済産業省はデジタル広告の適正化に動き出している。

こうした中、広告主への実地調査による広告の事前審査を行う唯一の公益法人として、当協会が広告適正化に果たす役割は大きくなっていると言える。まずは審査部門の人材育成や後継者不足といった会員社が抱える課題の解決として、業務サポートと人材教育の二面で会員社に貢献しようと考えている。会員社にとって広告審査の知恵袋、相談相手となることを目指し、能力アップ、体制強化を行い、変化著しいインターネット広告を取り巻く環境への対応を急ぐ。

併せて令和7年度から実施された公益法人制度改正に対応すべくコンプライアンス強化

や改善改革を進めつつ中長期を見据えた協会の将来像を考える。広告界の一員として、関係官公庁、団体との連携を今まで以上に深め、事前に悪質な広告の芽を摘む活動へ携わっていくことで消費者全体の利益に貢献していく。

## 1. 審査事業の質と生産性の向上

協会の最も重要な資産と位置付ける調査報告書は引き続き作成のスピードアップに取り組み、報告書項目の見直しや文書の一元管理ソフトウェアの利用で時間短縮を図る。CMやインターネットの動画広告に対応できるよう整備を進める。並行して、行政との連携、業界団体の広告ガイドラインの取り組みの情報収集、協会内で実施する勉強会などを通じて広告審査の土台をより強固なものとする。相談業務の充実に努め、限られた時間内に可否判断しなければならない会員社にとって、広告審査の知恵袋のような存在、よき相談相手となることを目指す。こうした取り組みをしていくことでインターネット広告審査の取り込みも図る。

## 2. 研修事業の充実

広告審査で法人に問題があることを指摘する事例は少なくなっているが、広告表現では法整備が進むとそれをかい潜る新しい手法が現れることが繰り返されており年々審査の内容が高度化している。規制緩和や技術の進歩で生まれる新しいビジネスにも対応していかなければならない。広告審査にはより微細さや専門性が求められるようになってきている。加えて、会員社の課題として、法整備が進む度ごとに法の的確な理解に向けた知識のアップデートが必要となり、規制緩和や技術の進歩で生まれる新しいビジネスへの対応が求められるが、そうした審査・考査ができる人材の不足、ノウハウの継承がうまくいっていないことがあげられる。この課題解決に向けて、審査・考査担当者のスキルアップを図る研修事業をより充実させる。対面で行っている会員社研修会は、アンケートから審査担当者が悩んでいるテーマ、内容をタイムリーに取り上げ疑問解消に役立てていただく。一部の会員社から要望が出たニッチなテーマにはオンライン研修会で対応し、理解促進を図る。審査初心者向けの広告審査基礎講座については会員社の要望に応じてカスタマイズし事務所に出向いてレクチャーする出張講座も行う。

## 3. 業務遂行能力アップのための職員の意識向上とスキルアップ

職員は公益法人で勤務することに誇りをもって働いているが、その高いモチベーションを維持するために、職員に働く意識についてアンケートを行いその中から言葉を抽出

し令和7年度新たにパーパスを策定した。このパーパスを浸透させモチベーションの更なるアップにつなげる。職員研修も充実させる。外部の講演会、講習会を積極的に利用するほか、職員間のナレッジの共有などを通じて職員の知識レベルの底上げを図る。職員が複数の役割を担う意識を持ち、個別に目標を設定し、例えば研修会の講師や会員社からの問い合わせに答える相談員など、個々の職員のスキルアップを図ってもらう。

#### 4. 情報発信の強化とシステム改修

審査・考査担当者の立場になって必要かつ有益でタイムリーな情報提供を心掛ける。現在取り組んでいるホームページ改修、会員専用サイトのコンテンツ充実を引き続き進める。さらに協会から広く情報発信する場としてオンライン配信を積極的に活用する。令和7年度にサーバーのバージョンアップとそれに伴うシステム改修を予定していたが、より利便性を上げるために時間をかけて検討することにし令和8年度に持ち越した。検索能力の向上など会員社の皆様に使いやすいシステムへの改修を図る。

中期的な課題として、収入の安定化を図る必要がある。会員数の拡大に努める他に会費負担バランスの見直しや収益事業の開拓なども進める。また、進化が著しいAIは審査業務との相性がよく活用は必要不可欠と考えている。蓄積した報告書や官庁見解のデータとAIを組み合わせることで審査のスピードアップが図れる可能性が高いが、一方でハルシネーションが起こるリスク、古い法令を参考にしてしまうリスクなどを考慮する必要がある。当協会の審査フローに組み込むにはどうすればいいか、システム構築の際に検討する。

こうした取り組みを通じて協会の発信力を高め、関係官公庁、他団体と連携、協力をして広告界として大きな課題である悪質な広告の適正化に貢献する。